

野球独立リーグ

選手20人が仮契約

和歌山ファイティングバーズ

田辺市を拠点とする野球独立リーグの球団「和歌山ファイティングバーズ(FB)」へ入団する予定の選手20人が、17日に同市鮎川の球団事務所

で仮契約した。選手たちは「1日でも早くプロ野球入りするため練習に励みたい」など意気込みを語った。

11月から同市の田辺スポーツパークと大阪府、兵庫県の

計3カ所が入団テストをした。入団予定の選手は17、24

歳で、大阪府5人、兵庫県5人、和歌山県2人、岡山県2人、青森、香川、広島、山口、

鹿兒島の各県から1人ずつと

台湾が1人の計20人。来年に

はさらに外国人選手らが入

り、最大で28人になるとい

う。

仮契約には、和歌山FBを

運営するNPO「ANFUT

URE」の谷口弘理事長ら球

団関係者が参加。谷口理事長

は「皆さんがプロへ旅立てる

よう精いっぱい応援する」と

あいさつした。山崎章弘監督

は「自分に勝ち、大きな夢を

持つてほしい」とエールを送

った。

スツ姿の選手一人一人が

自己紹介した。独立リーグの

兵庫ブルーサンダーズでプレ

ーしていた高橋直也さん(24)

は「明るい話題をつくれるよ

うな選手になりたい」と抱負

を語った。その後、多くの選

手が住むことになる田辺市内



仮契約を済ませた和歌山ファイティングバーズの入団予定者ら (田辺市鮎川で)

の寮を下見した。入団を希望する選手は来年2月1日に本契約し、キャンプや3月のオープン戦を経て、4、10月に近畿地方の独立リーグ「ベースボール・ファースト・リーグ」(4チーム参加)の公式戦を戦う。ほかにプロ野球チームや海外チームとの交流戦などがある。球団はこのほか、和歌山FBの投手コーチに元プロ野球

千葉ロッテマリーンズの吉田篤史さん(46)が就任したと発表した。吉田コーチは「プロに入るだけでなく、そこで活躍する選手を育てたい」と話した。